

令和4年5月26日

各 位

会 社 名 株式会社軽自動車館
(コード番号 7680 TOKYO PRO Market)
代 表 者 代表取締役 阿部 章一
問 合 せ 先 取締役管理部長 三上 裕史
T E L 011-200-0312
U R L <http://www.keijidousyakan.com/>

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、令和3年12月15日に開示した令和4年4月期（令和3年5月1日～令和4年4月30日）の業績予想を下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当期の業績予想数値の修正（令和3年5月1日～令和4年4月30日）

（単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想（A）	3,065	12	9	4	91円96銭
今回修正予想（B）	3,347	21	19	12	233円52銭
増 減 額（B－A）	281	9	10	7	
増 減 率（％）	9.2	81.0	106.8	153.9	
（参考）前期実績 （令和3年4月期）	2,892	27	37	25	501円49銭

2. 修正の理由

当下期の業績については、2月までは新たな変異株ウイルスの急速な拡大や北海道内の記録的な豪雪による個人消費活動の制限に加えて、半導体不足による中古車相場高騰などの影響から厳しい状況が続きましたが、3月以降はそれまでの反動で販売台数が計画を大きく上回りました。

売上高については、新車及び未使用車販売が計画より多かったこと、また中古車に関しても例年より高年式車の販売が多かったこと、さらには新たに新店した札幌清田店の販売が好調であったこと等により計画を上回る見込みとなりました。

営業利益、経常利益及び当期純利益については、販売価格の見直し等により台当たり利益が向上したことが寄与し、いずれも前回予想を上回る見込みとなりました。

これらの結果、令和4年4月期の業績につきましては、売上高は3,347百万円（前期比15.7%増）、営業利益は21百万円（同20.1%減）、経常利益は19百万円（同46.5%減）、当期純利益は12百万円（同53.4%減）となる見込みであります。

以 上